

逆走自転車への注意喚起看板の設置について

【資料5】

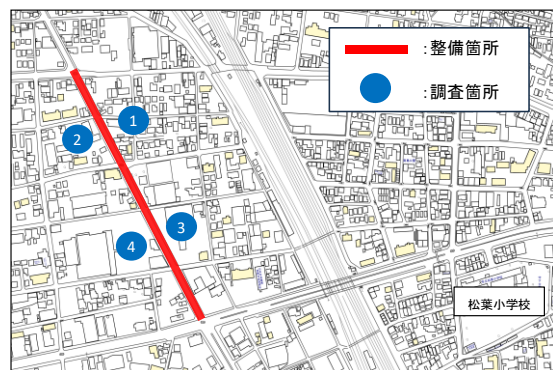
1. 経緯

令和4年度に自転車通行空間の整備(L=370m)を行った野田町・羽田町1号線において、整備の効果を把握するため、整備の翌年度及び翌々年度に自転車交通量調査を行った。調査の結果、整備前と比較して歩道を走行する割合が減少しており、整備の効果が確認できた。しかし、車道順走だけでなく、逆走している自転車も増えてしまっているため、逆走が違反であることを走行者に認識させる必要がある。

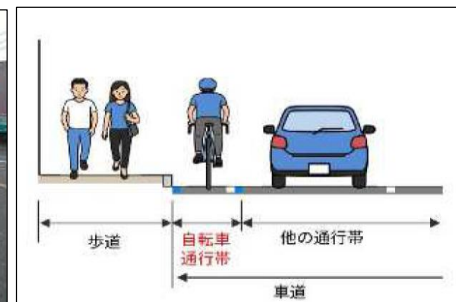
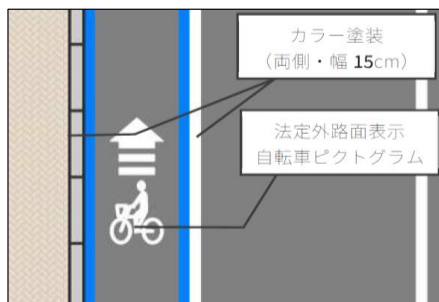
そこで、逆走が道路交通法違反であるということを周知するため、植栽帯等に注意喚起の看板を設置し、看板設置後の交通量調査によって得られた効果についての検証を行った。

2. 自転車通行空間の整備(令和4年度)

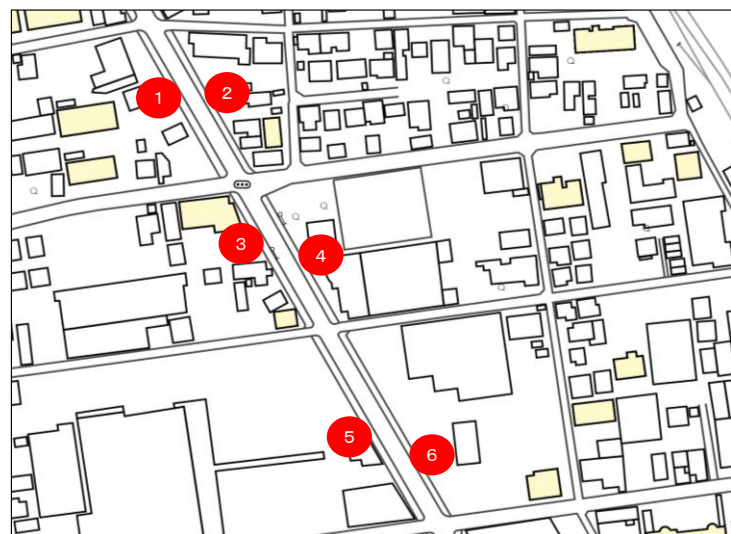
【整備 / 調査箇所】



【整備内容】



3. 注意喚起看板の設置位置(令和8年度)



【左図①】



【左図②】



【左図③】



【左図④】



【左図⑤】



【左図③】



4. 交通量調査結果

区分			調査箇所①				調査箇所②				調査箇所③				調査箇所④			
			整備前 (R4.10.13)	整備後 1年経過 (R5.7.7)	整備後 2年経過 (R6.7.5)	啓発看板 設置後 (R8.6.10)	整備前 (R4.10.13)	整備後 1年経過 (R5.7.7)	整備後 2年経過 (R6.7.5)	啓発看板 設置後 (R8.6.10)	整備前 (R4.10.13)	整備後 1年経過 (R5.7.7)	整備後 2年経過 (R6.7.5)	啓発看板 設置後 (R8.6.10)	整備前 (R4.10.13)	整備後 1年経過 (R5.7.7)	整備後 2年経過 (R6.7.5)	啓発看板 設置後 (R8.6.10)
車 道	車道順走	台数	38台	55台	84台	115台	6台	9台	3台	5台	38台	74台	109台	151台	2台	8台	3台	6台
		割合	33%	49%	60%	78%	7%	10%	5%	11%	19%	39%	51%	67%	5%	12%	7%	18%
	車道逆走	台数	1台	2台	1台	0台	0台	4台	3台	1台	0台	1台	0台	0台	1台	3台	7台	2台
		割合	1%	2%	1%	0%	0%	5%	5%	2%	0%	1%	0%	0%	3%	4%	16%	6%
歩道	歩道走行	台数	75台	54台	55台	32台	80台	74台	58台	39台	159台	117台	103台	75台	35台	56台	35台	26台
		割合	66%	49%	39%	22%	93%	85%	91%	87%	81%	60%	49%	33%	92%	84%	77%	76%
合 計		台数	114台	111台	140台	147台	86台	87台	64台	45台	197台	192台	212台	226台	38台	67台	45台	34台
		割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

5. 検証結果

注意喚起看板設置後の交通量調査の結果、いずれの調査箇所においても、前回調査時点（R6.7.5）と比較して、車道逆走台数及びその割合が有意に減少していることが分かった。また、令和4年度の自転車通行空間の整備から約4年経過し、整備前の調査時点（R4.10.13）と比較して、歩道走行台数及びその割合がさらに減少していることが分かった。